

SEIKO

2013年度（2014年3月期）
第3四半期 決算説明会

2014年2月13日

セイコーホールディングス株式会社

1. 決算説明
2. 2013年度の見通し

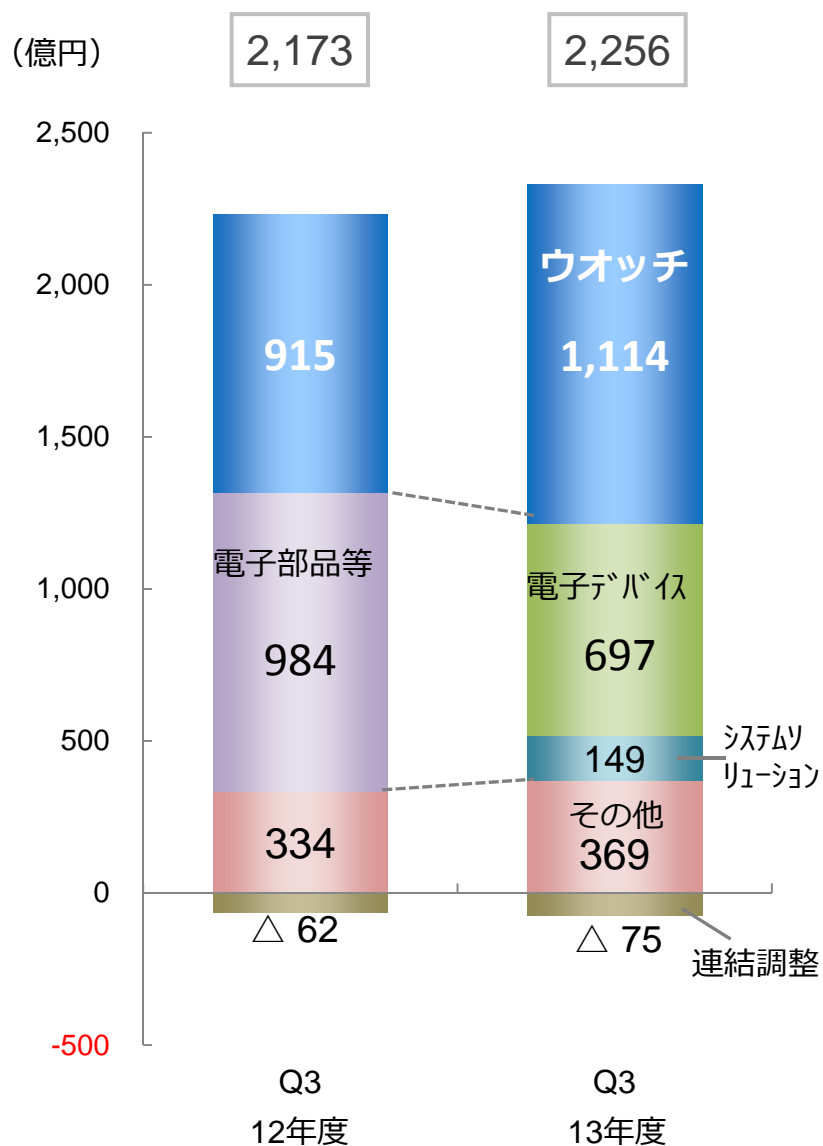
1. 決算説明

2013年度 損益 - 第3四半期 (累計 4月-12月) -

SEIKO

(億円)	12年度 Q3(累計)	13年度 Q3(累計)	増減			
			増減額	増減比		
売上高	2,173	2,256	+83	+3.8%	売上高： 対前年 +83 為替による影響 約+260	
売上総利益	686	777	+90	+13.2%	営業利益： 対前年 +44 売上総利益増加 +90 経費増加(広告宣伝費等) △46	
営業利益	88	133	+44	+50.3%		
%	4.0%	5.9%	+1.8%	-		
経常利益	68	112	+43	+62.7%	経常利益： 対前年 +43 営業利益増加 +44 支払利息減少 + 5 為替差損益改善 + 9 持分法投資損益 △17 その他営業外損益 + 1	
%	3.1%	4.9%	+1.8%	-		
税前利益	97	155	+58	+59.7%		
当期利益	73	119	+46	+63.6%		
%	3.3%	5.3%	+1.9%	-		
換算 レート	USD	79.9	99.3	+19.4	+24.2%	特別損益内容： 特別利益 55 タイ洪水被害受取保険金 46 投資有価証券売却益 8 関係会社貸倒引当金戻入額 1 特別損失 △12 退職特別加算金 △6 賃借契約損失引当金繰入額 △6
	EUR	102.0	132.1	+30.1	+29.5%	

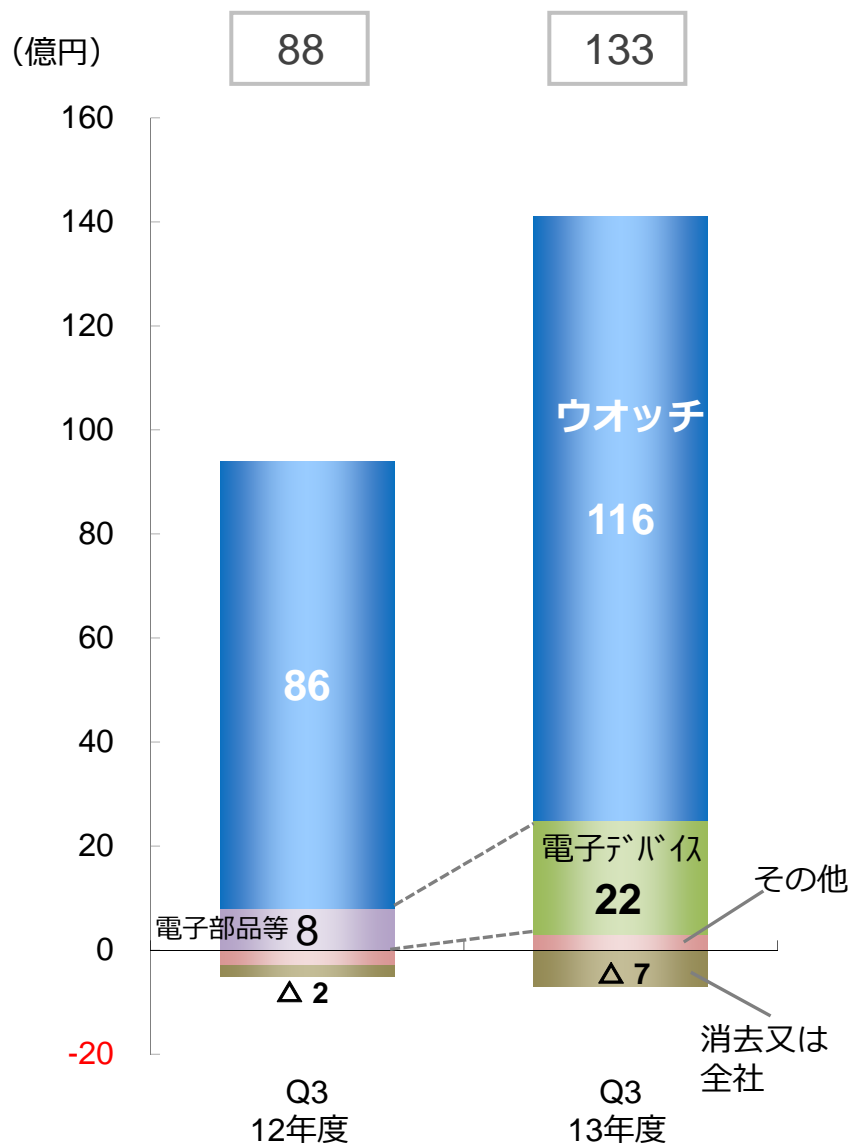
事業別売上高 - 第3四半期 (累計 4月-12月) -



(億円)	売上高		
	12年度 Q3(累計)	13年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	915	1,114	+199
電子デバイス事業	984	697	-
システムリユース事業		149	-
計	1,900	1,961	+61
その他	334	369	+34
消去又は全社	△62	△75	△13
連結計	2,173	2,256	+83

* 2012年度の「その他」、「消去又は全社」は参考値

事業別営業利益 - 第3四半期 (累計 4月-12月) -

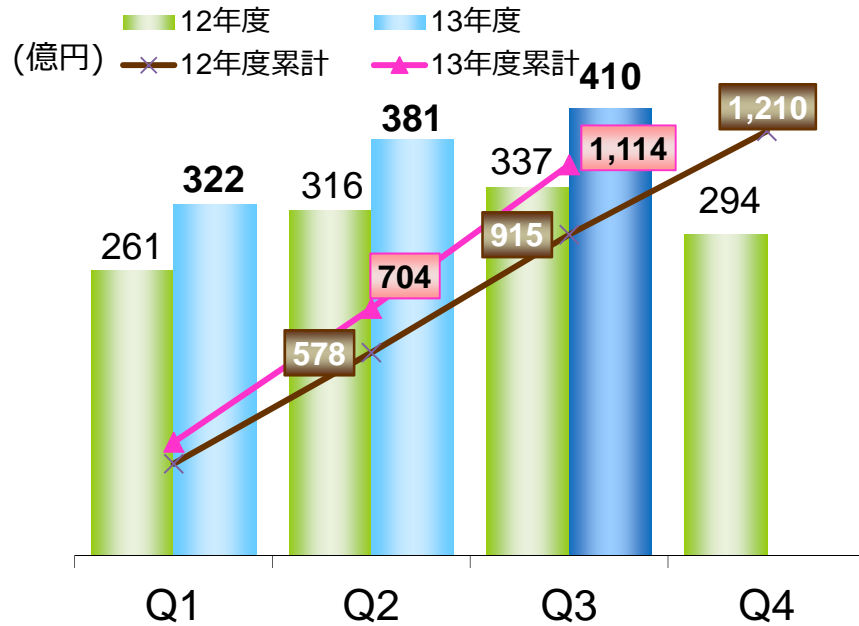


(億円)	営業利益		
	12年度 Q3(累計)	13年度 Q3(累計)	増減
ウオッチ事業	86	116	+30
電子デバイス事業	8	22	-
システムソリューション事業		△0	-
計	94	137	+43
その他	△3	3	+6
消去又は全社	△2	△7	△4
連結計	88	133	+44

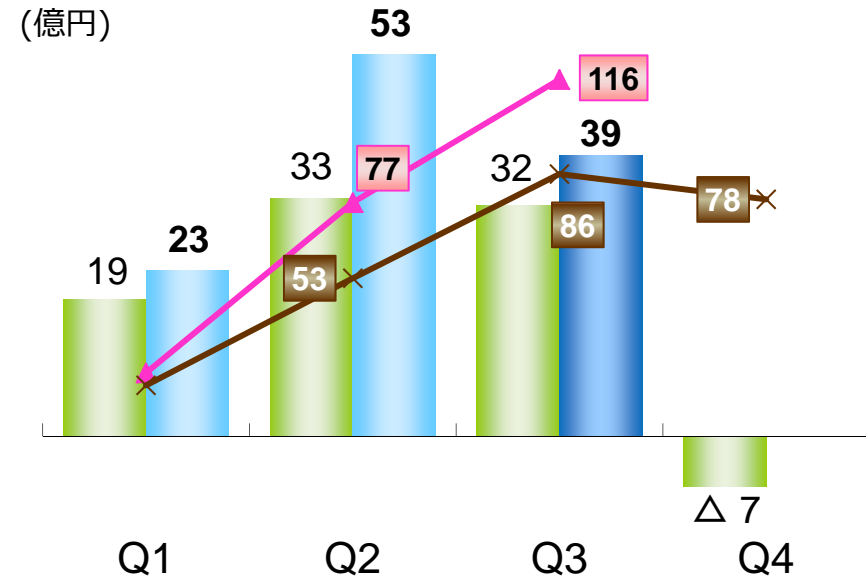
* 2012年度の「その他」、「消去又は全社」は参考値

セグメント情報

売上高

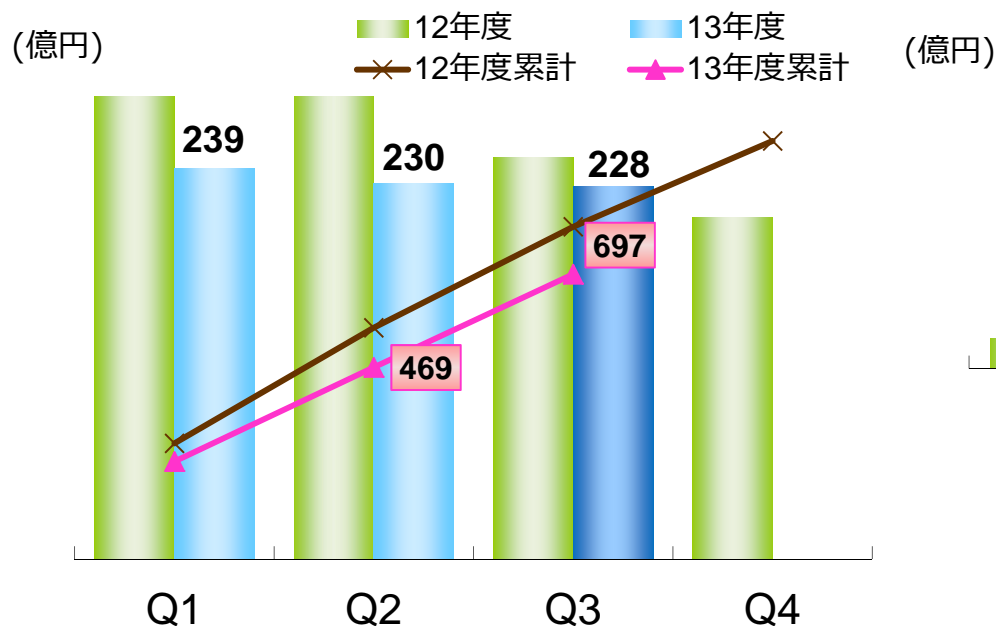


営業利益

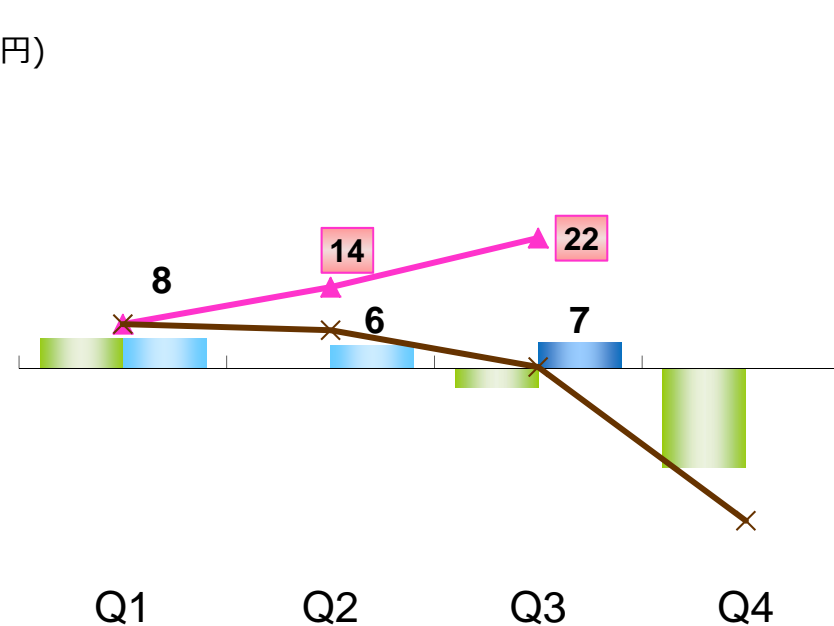


- 完成品ウォッチ (国内)** : グランドセイコーやクレドールなどの高価格帯商品から、アストロン、ルキア、ブライツなどの中価格帯商品を中心に売上を伸ばした。
- 完成品ウォッチ (海外)** : 米国は大手デパート向けが好調に推移したほか、新規取引先向けの売上も貢献し前年を大きく上回った。欧州では引続き英国が売上を伸ばした。アジアでは中国で売上を落としたものの、台湾などは売上を伸ばした。円安効果の影響もあり、アメリカ、欧州、アジアの各地域とも前年同期を大きく上回った。
- ムーブメント** : 円安の影響により価格競争が激しくなる中、高付加価値商品の欧米大手顧客向けは順調に推移したが、標準品が伸び悩んだ。

売上高



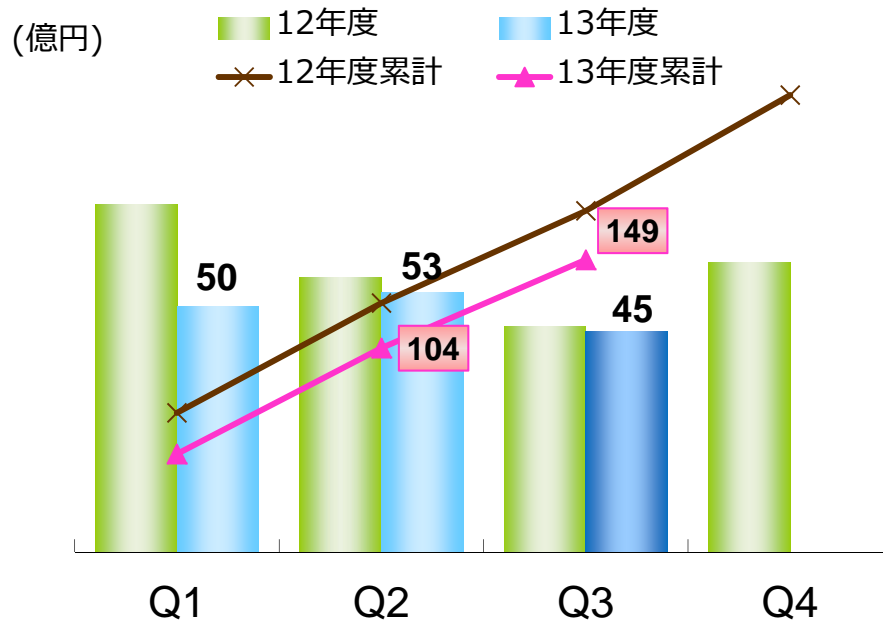
営業利益



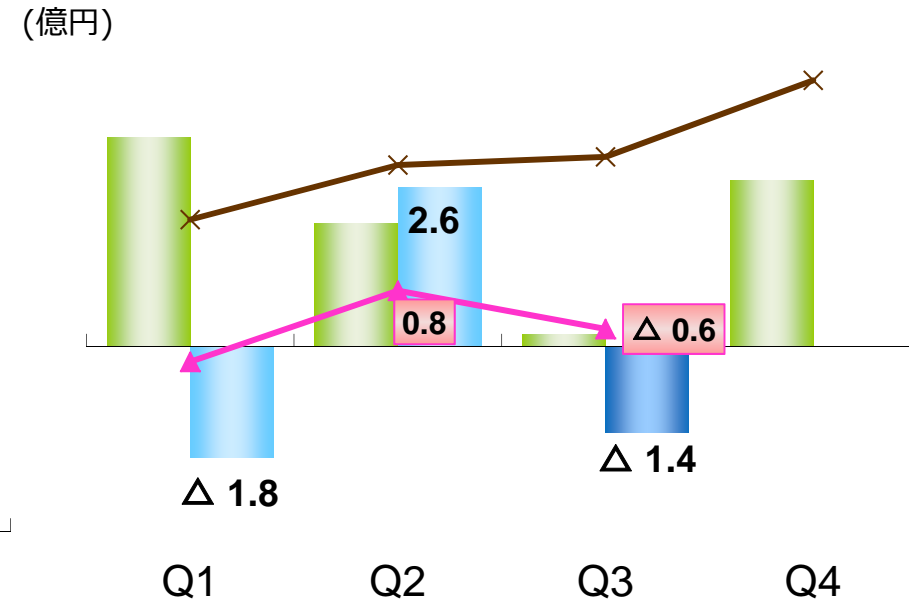
- ・デバイス : 半導体は車載向け製品やスマートフォン向け製品等を中心に好調。電池もスマートフォン向けの売上が好調に推移した。
- ・メカトロニクス : ハードディスクコンポーネントはスマートフォンやタブレットへの移行により市場の低迷が続いており厳しい状況。一方、カメラシャッターも客先の在庫調整等により厳しい状況が続いている。
- ・その他 : プリンタは新興国向け建材市場を中心に需要が拡大している。

* 2012年度の売上高、営業利益は参考値

売上高

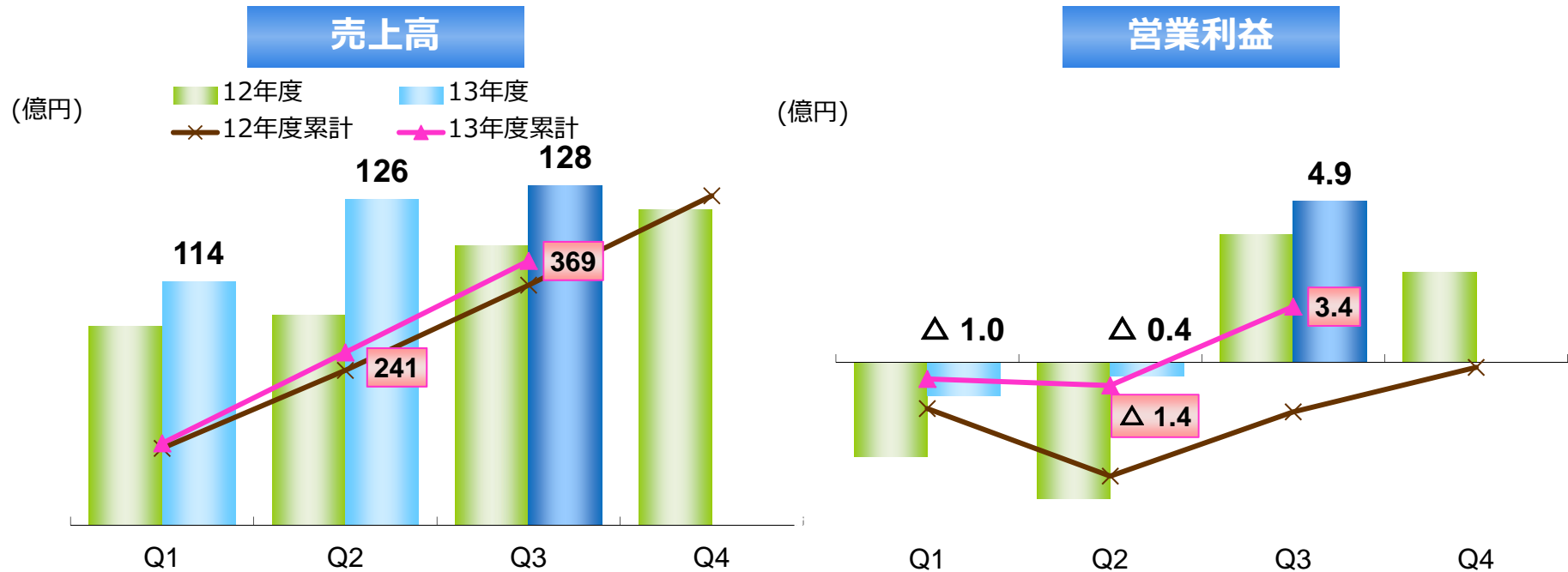


営業利益



- ・ネットワーク機器が売上を伸ばしたものの、上期円安対応のため新製品の投入が遅れたモバイル関連は落ち込みをカバーすることはできなかった。
- ・決済端末関連は新製品の投入により堅調に推移した。
- ・エネルギー監視・制御ソリューションは引き続き好調に推移。

* 2012年度の売上高、営業利益は参考値



- ・クロック：円安の影響により、営業損失となった。
- ・眼鏡：海外では米国や欧州の大手チェーン向けビジネスが順調に推移。為替の影響もあり、売上、利益ともに前期を上回る結果となった。
- ・その他：和光は引続き本館のウォッチやジュエリーを中心とした売上が好調な他、法人営業部も順調に売上を伸ばし、売上、利益とも前年を大きく上回った。

* 2012年度の売上高、営業利益は参考値

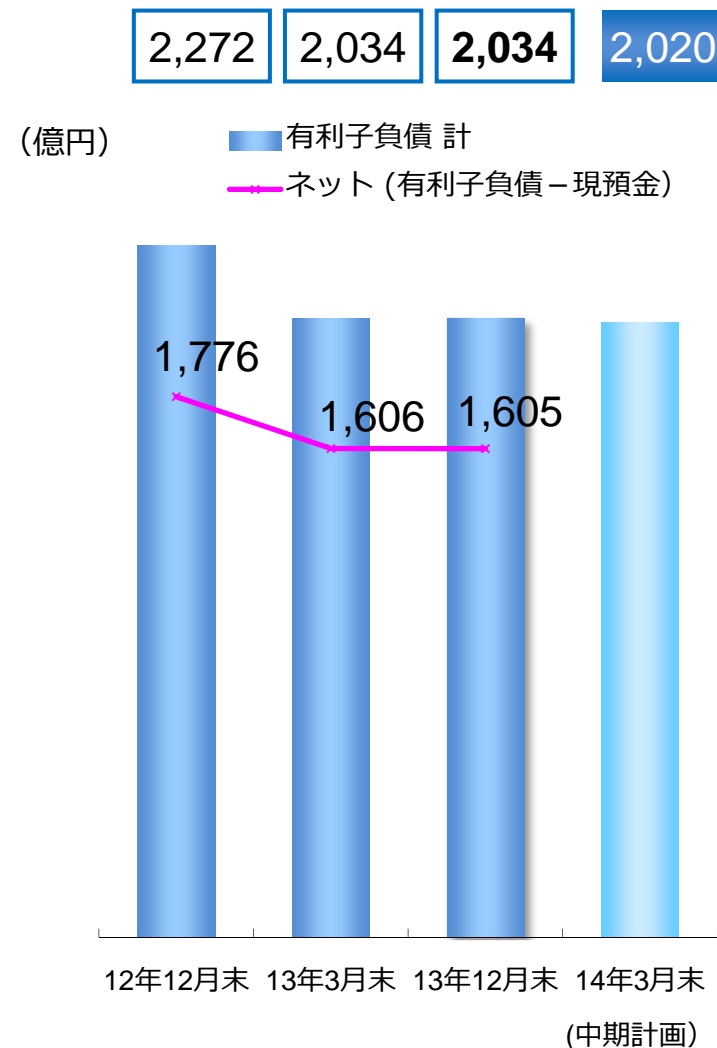
2013年12月末 貸借対照表

(億円)	2012年 12月末	2013年 3月末 (a)	2013年 12月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	665	606	691	+85
有利子負債	2,272	2,034	2,034	△0

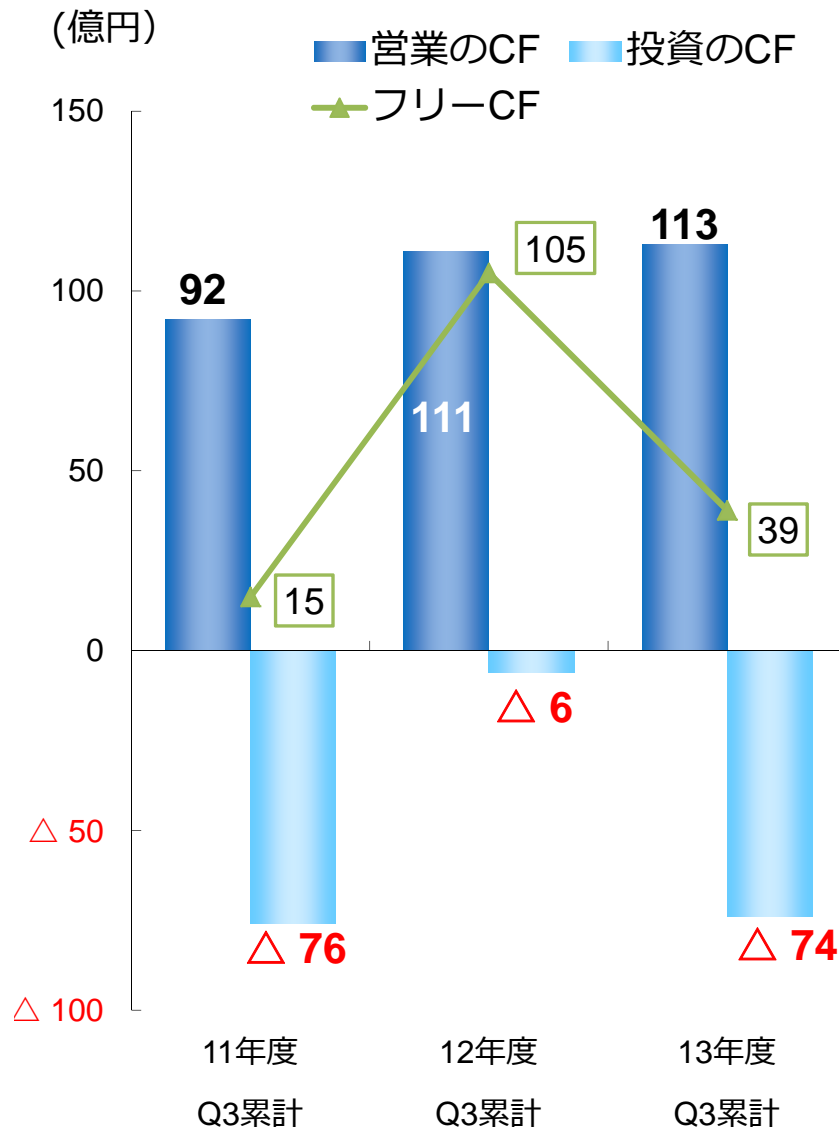
純資産	378	408	695	+287
総資産	3,738	3,553	3,828	+275

自己資本比率	7.9%	11.0%	17.5%	+6.5%
ネットD/E レシオ	4.7	3.9	2.3	△1.6
従業員数	15,498	14,712	14,256	△456

有利子負債



キャッシュフロー



(億円)

	11年度 Q3累計	12年度 Q3累計	13年度 Q3累計
税引前当期純利益	△15	97	155
減価償却費	111	95	89
その他	△3	△81	△131
営業のキャッシュフロー	92	111	113
有形固定資産の取得	△99	△127	△90
その他	23	121	16
投資のキャッシュフロー	△76	△6	△74
借入金の借入・返済収支	14	△148	△16
その他	6	21	△12
財務のキャッシュフロー	21	△127	△29
換算差額等	△15	4	△10
現金及び現金同等物	540	495	427
フリーキャッシュフロー	15	105	39

2. 2013年度の見通し

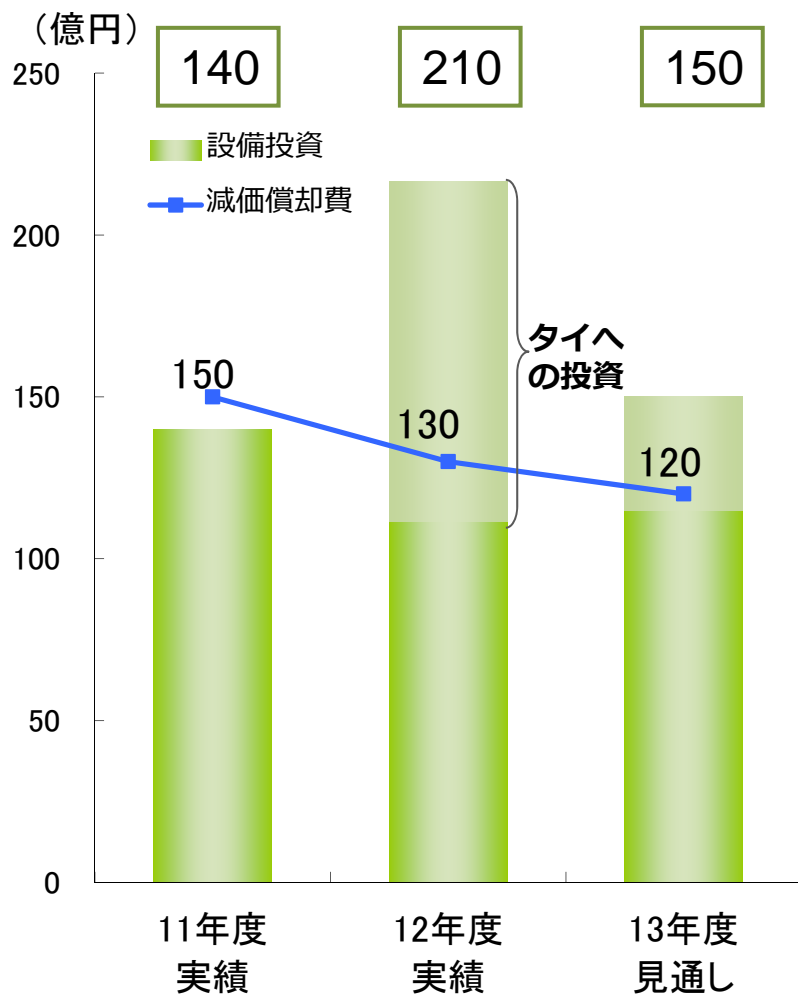
(億円)	12年度 (実績)	前回見通し (11/12)	今回見通し (2/12)	対前回 増減
		通期	通期	通期
売上高	2,837	3,000	3,000	±0
営業利益	55	130	140	+10
%	1.9%	4.3%	4.6%	+0.3%
経常利益	32	90	100	+10
%	1.1%	3.0%	3.3%	+0.3%
当期利益	55	110	90	△ 20
%	1.9%	3.6%	3.0%	△0.6%

2013年度 見通し - 事業別売上高・営業利益 -

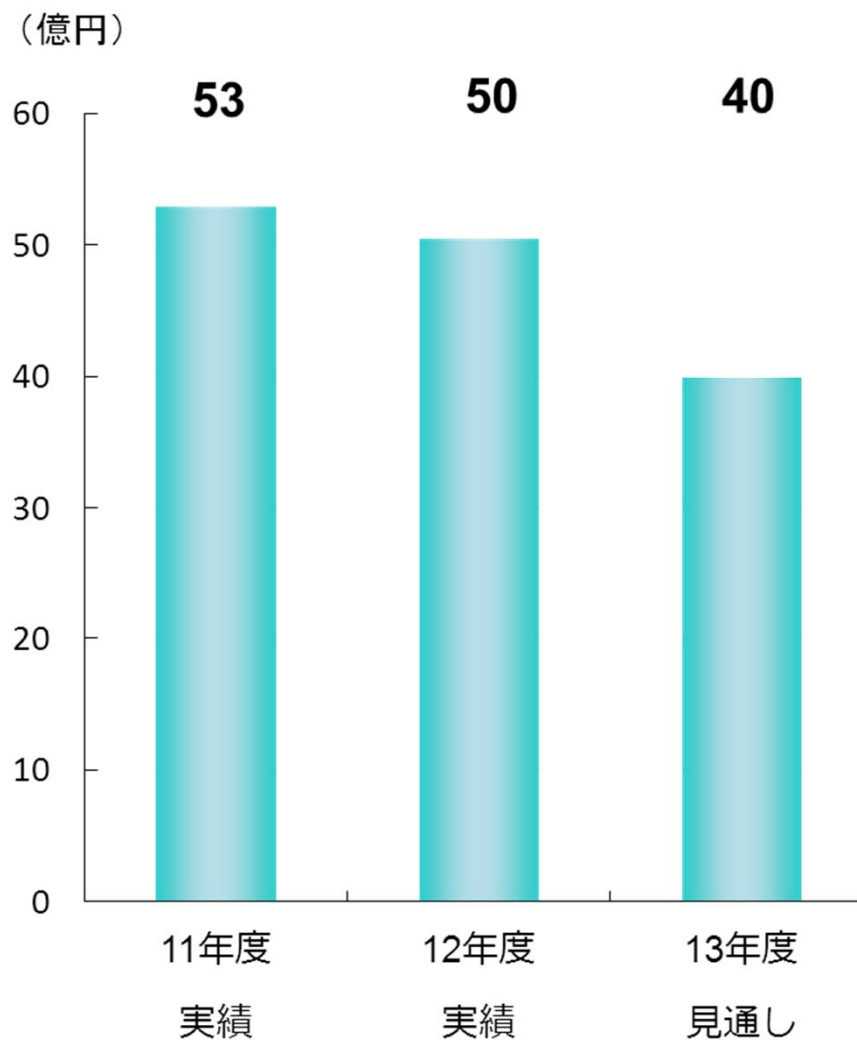
(億円)	売上高				営業利益			
	12年度 (実績)	13年度見通し		対前回 増減	12年度 (実績)	13年度見通し		対前回 増減
		前回 (11/12)	今回 (2/12)			前回 (11/12)	今回 (2/12)	
ウオッチ	1,210	1,450	1,450	±0	78	110	120	+10
電子デバイス	1,252	900	900	±0	△15	25	25	±0
システムソリューション		250	250	±0		5	5	±0
計	2,462	2,600	2,600	±0	63	140	150	+10
その他	460	500	500	±0	△0	5	5	±0
連結計	2,837	3,000	3,000	±0	55	130	140	+10

* 2012年度の「その他」は参考値

設備投資・減価償却費



研究開発費



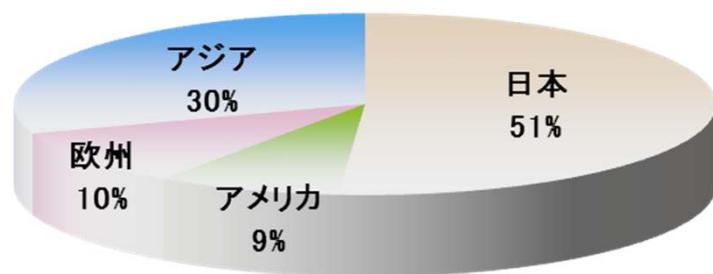
2013年度 見込期間為替感応度 (3か月分)

	USD	EUR
見込レート	100.0円	130.0円
売上高	約4億円	約0.5億円
営業利益	約0.5億円	約0.1億円

2013年度

		Q1	Q2	Q3	見込レート
平均レート	USD	98.7	98.9	100.3	100.0
	EUR	128.9	131.0	136.5	130.0
決算日レート	USD	98.6	97.7	105.4	100.0
	EUR	128.5	131.9	145.0	130.0

地域別売上高比率

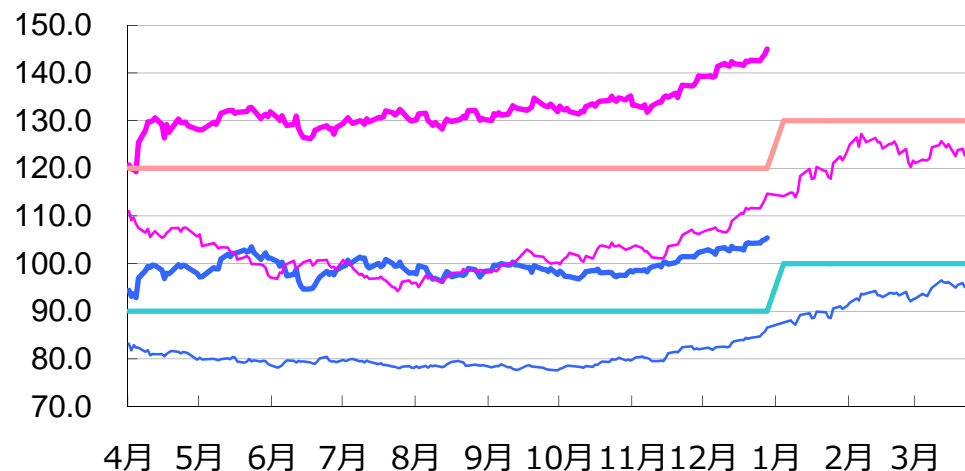


* 2012年度実績値

換算レート推移

(円)

- 13年度 USD
- 見込レート USD
- 12年度 USD
- 13年度 EUR
- 見込レート EUR
- 12年度 EUR



◆ 将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

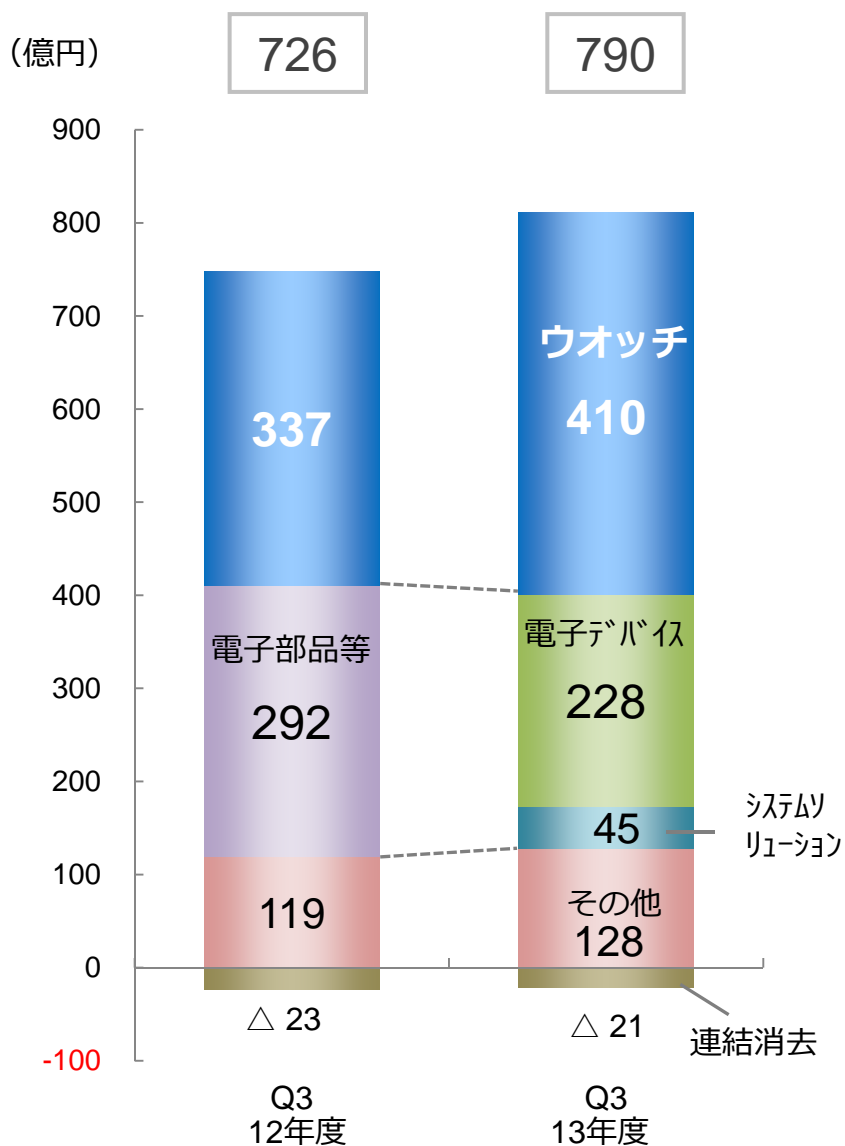
参考

2013年度 損益 - 第3四半期 (期間 10月-12月) -

SEIKO

(億円)	12年度 Q3	13年度 Q3	増減			
			増減額	増減比		
売上高	726	790	+63	+8.7%	売上高： 対前年 +63 為替による影響 約+80	
売上総利益	238	278	+39	+16.7%	営業利益： 対前年 +18 売上総利益増加 +39 経費増加(広告宣伝費等) △21	
営業利益	28	47	+18	+67.1%		
%	3.8%	5.9%	+2.0%	-		
経常利益	31	44	+13	+42.0%	経常利益： 対前年 +13 営業利益増加 +18 支払利息減少 + 1 持分法投資損益 △8 その他営業外費用増加 + 1	
%	4.3%	5.6%	+1.3%	-		
税前利益	85	37	-47	-55.8%		
当期利益	83	23	-60	-71.8%		
%	11.5%	3.0%	-8.5%	-		
換算 レート	USD	81.0	100.3	+19.3	+23.8%	特別損益内容： 特別利益 △0 投資有価証券売却益 △0 関係会社貸倒引当金戻入額 △0 特別損失 △6 退職特別加算金 △6 賃貸契約損失引当金繰入額 △0
	EUR	105.0	136.5	+31.5	+30.0%	

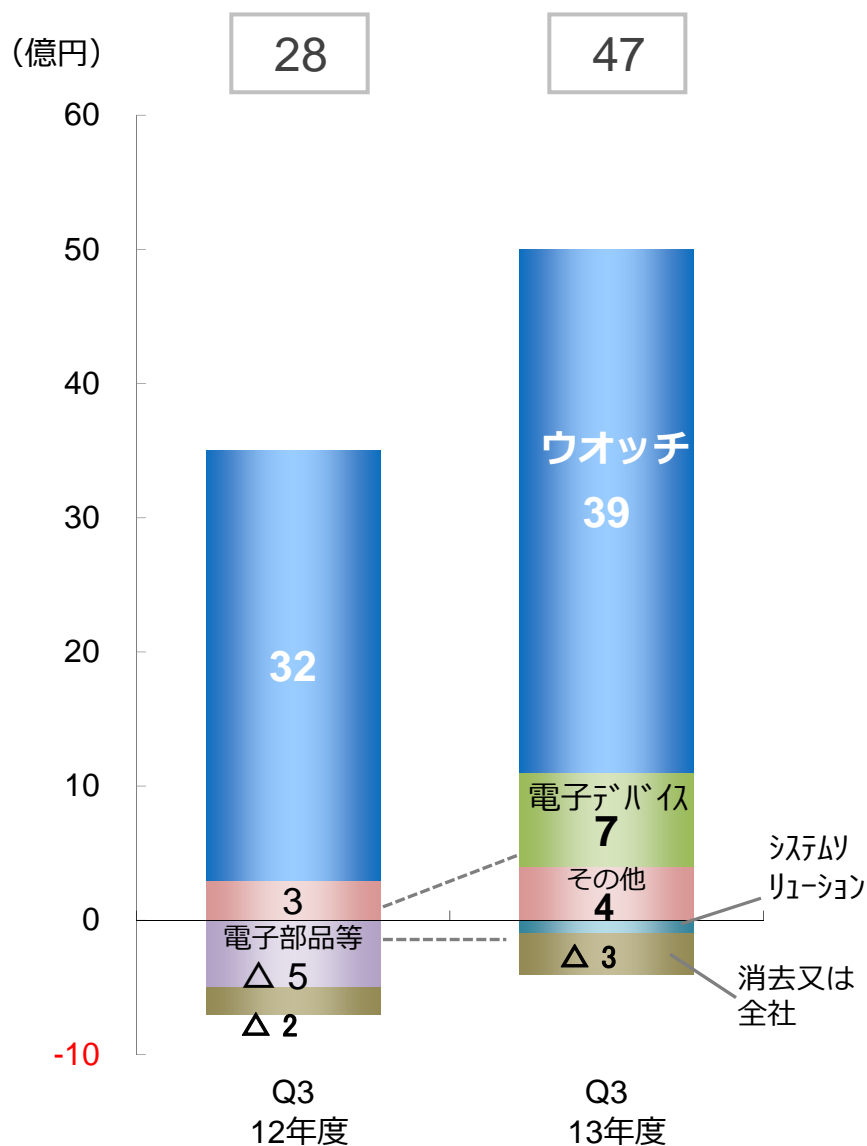
事業別売上高 - 第3四半期 (期間 10月-12月) -



(億円)	売上高		
	12年度 Q3	13年度 Q3	増減
ウオッチ事業	337	410	+73
電子デバイス事業	292	228	-
システムソリューション事業		45	-
計	630	683	+53
その他	119	128	+9
消去又は全社	△23	△21	+1
連結計	726	790	+63

* 2012年度の「その他」、「消去又は全社」は参考値

事業別営業利益 – 第3四半期（期間 10月-12月） –



(億円)	営業利益		
	12年度 Q3	13年度 Q3	増減
ウオッチ事業	32	39	+6
電子デバイス事業		7	-
システムソリューション事業	△5	△1	-
計	26	45	+18
その他	3	4	+1
消去又は全社	△2	△3	△0
連結計	28	47	+18

* 2012年度の「その他」、「消去又は全社」は参考値

End